参考資料①

地域自殺実態プロファイル【2017】
【大阪府堺市】

推奨される重点パッケージ

重点パッケージ	高齢者 生活困窮者 勤務・経営

「推奨パッケージ」は下記の「地域の自殺の特徴」の上位の３区分の性・年代等の特性と「背景にある主な自殺の危機経路」を参考に選定している。(「主な自殺の危機経路」は、自殺実態白書 2013 に基づき、あくまでも、該当する性・年代等の特性に応じ、全国的に見て代表的と考えられる「自殺の危機経路」を示すものであり、提示された経路が唯一のものではない。) なお、ハイリスク地及び自殺手段については次頁の「地域の自殺の特性の評価」のランク欄に示された☆☆の地域について記載している。
　自らの自治体で実施すべき具体的な施策については、推奨パッケージをまず目安として確認いただき、その上で次頁の「地域の自殺の特性の評価」(人口 10 万あたりの自殺率等の全国の中での相対的な指標値をもとに評価している) 等、地域自殺実態プロファイルの他の詳細データ等を勘案して検討いただきたい。

■地域の自殺の特徴

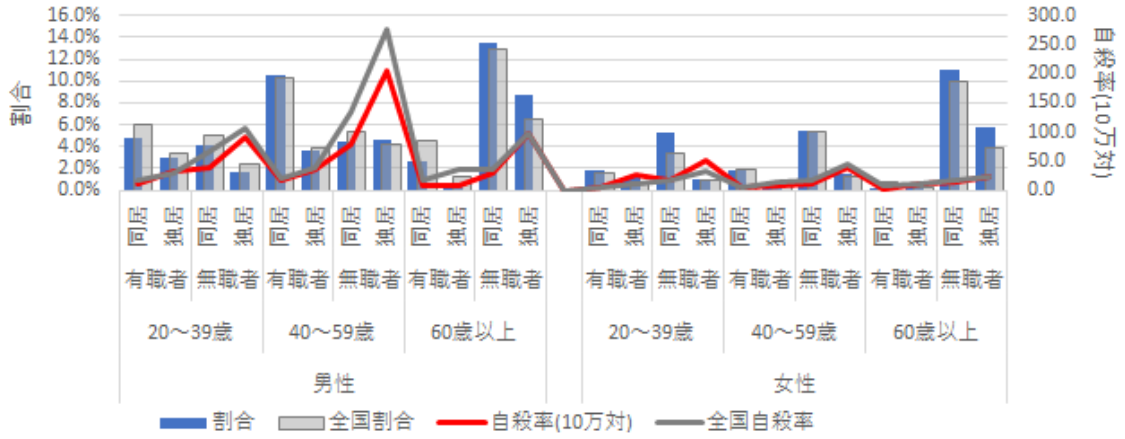
・大阪府堺市の自殺者数は H24～28 合計 685 人 (男性 440 人、女性 245 人) (自殺統計 (自殺日・住居地))

地域の主な自殺の特徴 (特別集計 (自殺日・住居地、H24～28 合計))

上位５区分	自殺者数 5 年計	割合	自殺率* (10 万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1 位:男性 60 歳以上無職同居	92	13.4%	30.5	失業 (退職) →生活苦＋介護の悩み (疲れ) ＋身体疾患→自殺
2 位:女性 60 歳以上無職同居	75	10.9%	15.5	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3 位:男性 40～59 歳有職同居	72	10.5%	17.1	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋仕事の失敗→うつ状態→自殺
4 位:男性 60 歳以上無職独居	60	8.8%	96.5	失業 (退職) ＋死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
5 位:女性 60 歳以上無職独居	39	5.7%	24.1	死別・離別＋身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

順位は自殺者数の多さにもとづき、自殺者数が同数の場合は自殺率の高い順とした。
*自殺率の母数 (人口) は平成 27 年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計した。
**「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書 2013 (ライフリンク) を参考にした (詳細は付表の参考表１参照)。

地域の自殺の概要（グラフ）（特別集計（自殺日・住居地、H24～28 合計））



（数表は付表１、２参照）

■地域の自殺の特性の評価（H24～28 合計）

	指標	ランク		指標	ランク
総数[1)]	16.2	ー	男性[1)]	21.6	ー
20 歳未満[1)]	0.6	ー	女性[1)]	11.2	ー
20 歳代[1)]	17.0	ー	若年者(20～39 歳)[1)]	17.0	ー
30 歳代[1)]	16.9	ー	高齢者(70 歳以上)[1)]	22.6	ー
40 歳代[1)]	19.3	ー	勤務・経営[2)]	14.1	ー
50 歳代[1)]	21.1	ー	無職者・失業者[2)]	29.2	ー
60 歳代[1)]	20.3	ー	ハイリスク地[3)]	98%/-16	ー
70 歳代[1)]	23.2	ー	自殺手段[4)]	34%	ー
80 歳以上[1)]	21.3	ー			

１）自殺統計にもとづく自殺率（10 万対）。自殺者数１人の増減でランクが変わる場合はランクに a をつけた。
２）特別集計にもとづく 20～59 歳を対象とした自殺率（10 万対）。自殺者数１人の増減でランクが変わる場合はランクに a をつけた。
３）自殺統計にもとづく発見地÷住居地（%）とその差（人）。自殺者（発見地）１人の減少でランクが変わる場合はランクに a をつけた。
４）自殺統計もしくは特別集計にもとづく首つり以外の自殺の割合（%）。首つり以外の割合が多いと高い。
・指標欄の「*」は指標を算出していないことを示す。

ランクの標章（詳細は付表の参考表２、３参照）

ランク	
★★★／☆☆	上位 10%以内
★★／☆	上位 10~20%
★	上位 20~40%
ー	その他
＊＊	評価せず

※市区町村について全国市区町村に対するランクを評価した。

■付表

参考表）地域の自殺の特徴について

参考表１）生活状況別の自殺の背景にある主な危機経路の例

生活状況				背景にある主な危機経路の例
男性	20～39 歳	有職	同居	職場の人間関係／仕事の悩み（ブラック企業）→パワハラ＋過労→うつ状態→自殺
			独居	①【正規雇用】配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋仕事の失敗→うつ状態→自殺／②【非正規雇用】（被虐待・高校中退）非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺
		無職	同居	①【30 代その他無職】ひきこもり＋家族間の不和→孤立→自殺 ②【20 代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
			独居	①【30 代その他無職】失業→生活苦→多重債務→うつ状態→自殺 ②【20 代学生】学内の人間関係→休学→うつ状態→自殺
	40～59 歳	有職	同居	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み＋仕事の失敗→うつ状態→自殺
			独居	配置転換（昇進/降格含む）→過労＋仕事の失敗→うつ状態＋アルコール依存→自殺
		無職	同居	失業→生活苦→借金＋家族間の不和→うつ状態→自殺
			独居	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺
	60 歳以上	有職	同居	①【労働者】身体疾患＋介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺 ②【自営業者】事業不振→借金＋介護疲れ→うつ状態→自殺
			独居	配置転換／転職＋死別・離別→身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	失業（退職）→生活苦＋介護の悩み（疲れ）＋身体疾患→自殺
			独居	失業（退職）＋死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
女性	20～39 歳	有職	同居	離婚の悩み→非正規雇用→生活苦＋子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	①非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺 ②仕事の悩み→うつ状態→休職／復職の悩み→自殺
		無職	同居	DV 等→離婚→生活苦＋子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	①【30 代その他無職】失業→生活苦＋うつ状態→孤立→自殺 ②【20 代学生】学内の人間関係→休学→就職失敗＋うつ状態→自殺
	40～59 歳	有職	同居	職場の人間関係＋家族間の不和→うつ状態→自殺
			独居	職場の人間関係＋身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	近隣関係の悩み＋家族間の不和→うつ病→自殺
			独居	夫婦間の不和→離婚→生活苦→うつ状態→自殺
	60 歳以上	有職	同居	介護疲れ＋家族間の不和→身体疾患＋うつ状態→自殺
			独居	死別・離別＋身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
			独居	死別・離別＋身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

主な危機経路の例は自殺実態白書 2013（ライフリンク）を参考にした。

参考表２）指標のランクの基準（詳細）
当該自治体の各指標についての全国市区町村におけるランク

	自殺率のランク
★★★	上位 10%以内
★★	上位 10~20%
★	上位 20~40%
－	その他
**	評価せず

	ハイリスク地指標のランク	自殺手段指標のランク （首つり以外の自殺手段の割合）
☆☆	上位 10%かつ差+10 人以上	上位 10%かつ自殺者数 20 人以上
☆	上位 10~20% かつ差+5 人以上	上位 10~20% かつ自殺者数 20 人以上
－	その他	その他
**	評価せず	評価せず

参考表３）指標の各ランクの下限と中央値（H24～H28 合計）

指標	★★★	★★	★	中央値
総数（自殺率 10 万対）	～31.2	～26.2	～21.5	20.0
20 歳未満（自殺率 10 万対）	～ 5.6	～ 3.5	～ 1.5	0.0
20 歳代（自殺率 10 万対）	～35.2	～26.9	～19.1	16.2
30 歳代（自殺率 10 万対）	～39.8	～29.2	～21.4	18.7
40 歳代（自殺率 10 万対）	～44.6	～33.9	～25.2	22.0
50 歳代（自殺率 10 万対）	～48.1	～38.4	～28.8	25.5
60 歳代（自殺率 10 万対）	～41.6	～32.3	～25.1	22.6
70 歳代（自殺率 10 万対）	～50.2	～37.6	～27.8	24.3
80 歳以上（自殺率 10 万対）	～57.7	～42.6	～29.5	25.1
男性（自殺率 10 万対）	～46.6	～38.1	～30.8	28.5
女性（自殺率 10 万対）	～20.4	～15.9	～12.6	11.5
若年者(20～39 歳、自殺率 10 万対)	～34.7	～26.7	～20.9	18.7
高齢者(70 歳以上、自殺率 10 万対)	～48.4	～37.6	～28.3	25.9
勤務・経営 （20～59 歳、自殺率 10 万対）	～32.7	～24.8	～18.9	17.0
無職者・失業者 （20～59 歳、自殺率 10 万対）	～81.0	～59.7	～43.5	38.8

指標	☆☆	☆	中央値
ハイリスク地 （発見地÷住居地(%)とその差）	～143%かつ 差+10 人以上	～121%かつ 差+5 人以上	102%
自殺手段（首つり以外の自殺手段の割合(%)。 自殺者が 0 人の場合 0%とした。）	～44%かつ 自殺者 20 人以上	～40%かつ 自殺者 20 人以上	31%

たとえば、総数（自殺率）が 28.0 のばあい、26.2 以上 31.2 未満なので★★に該当する。